

卒業要件及び進級要件等

進級要件

4年進級に必要な修得単位数は次の条件を満たし、合計が104単位以上であること。

- (1) 教養教育科目：卒業要件（1）に同じ。
- (2) 専門科目：学部共通科目から10単位以上（必修科目8単位及び選択必修科目2単位を含む）、専門基礎科目から10単位、専攻科目から51単位以上（卒業論文を除く、必修科目19単位を含む）、合計71単位以上
- (3) 自由選択科目：10単位以内
- (4) 自由科目は必要な修得単位数には含めない。

卒業要件

卒業に必要な修得単位数は次の条件を満たし、合計が124単位以上であること。

- (1) 教養教育科目：教養教育履修規則に定められた科目(必修6単位、人文科学系4単位以上、社会学系4単位以上、総合科目系4単位以上、地域志向科目2科目4単位以上を含む)23単位
- (2) 専門科目：学部共通科目から14単位以上（必修科目12単位及び選択必修科目2単位を含む）、専門基礎科目から10単位、専攻科目から67単位以上（必修科目33単位を含む）、合計91単位以上
- (3) 自由選択科目：10単位
- (4) 自由科目は必要な修得単位数には含めない。

別表Ⅰ (第6条関係)

卒業に必要な修得単位数

区分 \ 学科		地球システム科学 科		都市・交通デザイン学科			材料デザイン工学科	
		必修	選択	必修	選択 必修	選択	必修	選択
教養教育科目		23		23			23	
専門 科目	学部共通科目	10	8	12	2	0	10	2
	専門基礎科目	6	4	10	—	—	1	12
	専攻科目	42	21	33	—	34	18	48
	小 計	91		91			91	
自由選択科目		10		10			10	
合 計		124		124			124	

備 考

自由選択科目には、次に掲げる授業科目を含むことができる。

- (1) 教養教育科目のうち、選択及び選択必修で必要と定められた単位数を超えて修得した科目
- (2) 専門科目のうち、選択及び選択必修で必要と定められた単位数を超えて修得した科目
- (3) 他学科の専攻科目及び他学部の授業科目（別に定める教員免許状取得のための科目を除く。）

【参考】 G P A (グレード・ポイント・アベレージ)

富山大学では、G P A制度 (G P A : 履修科目の成績の平均値) を導入しています。

成績評価を下表のG P (グレード・ポイント) の数値に換算し、学期G P A、学年G P A及び累積 G P Aを算出します。このうち、学年G P Aと累積G P Aを各学年の成績通知書に記載します。各G P Aの算出方法は以下のとおりです。

$$(i) \text{ 学期G P A} = \frac{(\text{当該学期の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のG P}) \text{ の総和}}{\text{当該学期の履修科目総単位数}}$$

$$(ii) \text{ 学年G P A} = \frac{(\text{当該学年の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のG P}) \text{ の総和}}{\text{当該学年の履修科目総単位数}}$$

$$(iii) \text{ 累積G P A} = \frac{(\text{在学期間中の履修科目単位数} \times \text{当該授業科目のG P}) \text{ の総和}}{\text{在学期間中の履修科目総単位数}}$$

※履修登録科目の確認を怠り、履修しない授業科目が履修登録されている場合や、履修取消の手続きを行わず受講しなかった場合の成績は「不可」となり、G P Aに算入されるので注意すること。なお、「不可」となった場合、同一科目を再履修し単位を修得することで累積G P Aの対象外とすることができます。(ただし、学期G P A及び学年G P Aには算入されたままです。)

成績の評語に対する評価基準及びG Pの対応表

成績の評語	G P	評価基準
秀 (S)	4	到達基準を達成し、極めて優秀な成績を修めている
優 (A)	3	到達基準を達成し、優秀な成績を修めている
良 (B)	2	到達基準を達成し、良好な成績を修めている
可 (C)	1	到達基準を達成している
不可 (D)	0	到達基準を達成していない

「認」、「合格」及び「不合格」をもって評価される授業科目は、G P A 算出の対象外とします。